

第7章 目標指標

- 目標指標は、第2次計画の4つの「基本目標」の達成状況を客観的に把握し、第2次計画における取り組みの成果を評価・検証するために設定するものです。

- 第1次計画の評価を踏まえ、第2次計画では新たに目標指標を設定します。

新たに設ける目標指標

基本目標1…より、食と健康が密接に関連する項目に変更しました。

- 「自分の適正体重を知っている人の増加」
- 「よく噛んで味わって食べる人の増加」
- 食と健康については、「体重」への関心が高まっている中で、生活習慣病の予防が重要になり、肥満や痩せの問題については、小中高生からの関心も高くなっています。健やかな身体をつくるという目標に対して、まずは自分自身の適正体重を知ることが重要になることから、「自分の適正体重を知っている人の増加」を目標指標の一つとして掲げました。
- 第2次計画では「噛む」ことの重要性を周知し、その実践を図ることを推進していきます。また、重点的に取り組みを行う年齢も拡大しており、「よく噛んで味わって食べる人の増加」を目標指標の一つとして掲げました。

基本目標2…郷土に伝わる食文化の継承を加えました。

- 「郷土料理を年1回以上実施しているまたは行事食を年5回以上実施している人の増加」
- 「行事食を5回以上実践している人の増加」を目標指標の一つとして掲げて取り組んできましたが、家庭において郷土料理を全く実施しない人が6割以上いることから第2次計画においては、小牧市の歴史と風土に培われた郷土の食文化を後世に受け継いでいくためにさらに積極的に取り組んでいきます。そこで「郷土料理を年1回以上実施しているまたは行事食を年5回以上実施している人の増加」に内容を変更し、目標指標の一つとして掲げました。

- その他の項目については、第1次計画の達成状況を踏まえ、目標数値の一部見直しを行うとともに、第2次計画において目標達成ができるよう施策の充実を図り、推進をしていきます。
- 次期計画の見直しにあたっては、目標指標の評価、結果の検証を行い、反映させ活用していきます。

基本目標	目標指標	指標数値		
		現状数値 (H23)		目標数値
基本目標1 食を通じて 健やかな身体 をつくろう	毎日朝食を食べる人の増加	一般市民	86.6%	90%
		小中高校生	88.7%	95%
		園児	94.3%	95%以上
	自分の食生活がよいと思う人の増加(※1)	一般市民	79.7%	90%
		一般市民	91.9%	95%以上
	自分の適正体重を知っている人の増加(※2)	小中高校生	68.4%	80%
		一般市民	50.7%	60%
		小中高校生	57.6%	70%
	よく噛んで味わって食べる人の増加	園児	65.2%	75%
一般市民		63.5%	75%	
基本目標2 食を通じて 豊かな心を 育てよう	食事が楽しいと回答する人の増加(※3)	小中高校生	78.8%	85%
		園児	80.8%	90%
		一般市民	59.9%	70%
	「いただきます」「ごちそうさま」などのあいさつをする人の増加(※4)	小中高校生	78.6%	85%
		園児	80.9%	90%
		一般市民	67.5%	75%
郷土料理を年1回以上実施しているまたは行事食を年5回以上実施している人の増加	一般市民	67.5%	75%	
基本目標3 食を通じて 環境にやさしい 生活をしよう	地元産食材を購入している人の増加(※5)	一般市民	23.6%	40%
	食事の食べ残しをしなかった人の増加	一般市民	73.4%	85%
		小中高校生	56.5%	65%
		園児	23.9%	50%
	自宅で食べる野菜を栽培している人の増加(※6)	一般市民	45.7%	55%
基本目標4 食育を 広めよう	「食育」を知っている人の増加(※7)	一般市民	46.2%	60%
		小中高校生	39.6%	55%
		園児保護者	52.3%	65%
	「食育」に関する活動や行動をしている人の増加	一般市民	27.0%	40%

※1 「よいと思う」「多少の問題はあるが、だいたいよいと思う」の計

※2 「知っている」「だいたい知っている」の計

※3 「とても楽しい」「楽しいことが多い」の計

※4 「必ずしている」「よくしている」の計

※5 「意識して購入している」「どちらかといえば意識して購入している」の計

※6 「庭や畑で栽培している」「鉢植えで栽培している」の計

※7 「よく内容を知っている」「だいたい内容を知っている」の計